NISCA

PR5500

操作マニュアル

目次

a)カードの補給方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1ページ
b)インクリボンの交換方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2ページ
c)再転写リボンの交換方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4ページ
d)印刷方式の切替方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6ページ

Ver. 1. 0
Jul. '03.

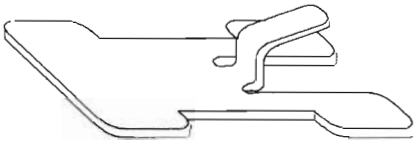
ニスカ株式会社

a）カードの補給方法

⚠ 注意

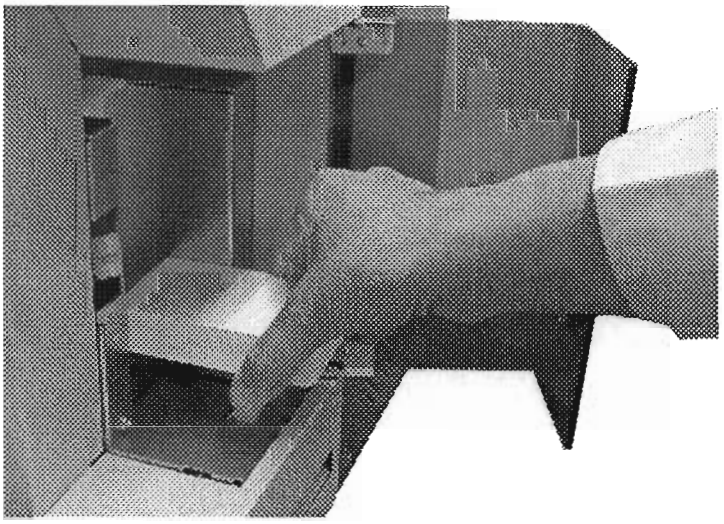
□お買いあげ店の指定カード以外は使用しないで下さい。
→正常な印刷が得られず、場合によっては装置の故障につながる事があります。
□本プリンターで一度印刷を行ったカードに重ねて印刷する事はできません。
→装置が故障する原因になります。

1．カード供給部のカバーを開き
　ウェートを取り出します。
2．右図の様にカードの端部を持ち
　必要量をセットします。
3．カード後端部が揃うよう端面を
　軽く手で押さえて下さい。
4．ウエイトをカードの最上部に乗
　せてカバーを閉じます。



ウエイト

カードの上にウエイトを乗せる



カードは端面を持つ

⚠ 注意

□磁気ストライプ等が付加されているカードを使用する場合、方向を良く確かめてからセットして下さい。方向に関しては、使用しているシステムの取扱説明書に従って下さい。
→方向が誤っている場合、エンコードエラになります。また表裏に磁気ストライプがあるカードの場合、誤ってエンコードされる事になります。
□予め印刷されたカードに本プリンターで印刷を行う場合、方向を良く確かめてからセットして下さい。方向に関しては、使用しているシステムの取扱説明書に従って下さい。
→正しい印刷ができません。
□ゴミ，ホコリ等の付着したカードをそのまま使用しないで下さい。
→ヘッドを破損する恐れがあります。
□カードの端面を持ち印刷面には触れぬよう注意して下さい。
→正常な画像が得られません。

b） インクリボンの交換方法

ここでは、本プリンターで使用するインクリボンと再転写リボンの内、インクリボンの交換方法を説明します。

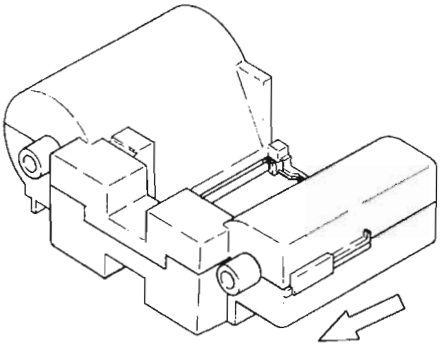
⚠ 注意

□使用中のリボンが空になる前に（液晶表示が"ｲﾝｸﾘﾎﾞﾝ ｴﾝﾌﾟﾃｨ"以外の表示の時）
リボンカートリッジを取り出す場合、必ずRIBBON CHANGEキーを押して動作が終了した事を確認してからフロントアクセスカバーを開いて下さい。
→印刷待機状態のままではカートリッジが取り出せません。無理に取り出そうとすると、破損又は故障の原因になります。
□リボンカートリッジは、無雑作に放置しないで下さい。再びセットする時は、インクリボンの露出部を巻き取ってから挿入して下さい。
→インクリボンやカートリッジに付着した塵埃によってプリントヘッドを破損する場合があります。

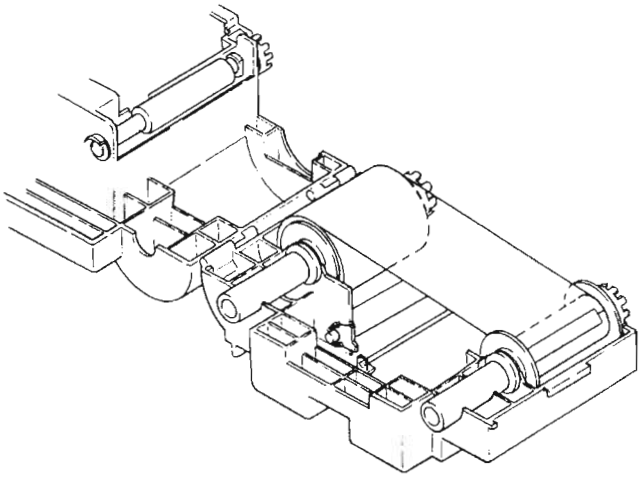
RIBBON CHANGEキーを１秒程度押し
手を離すとオペレーションパネル下段の
表示が、"ﾘﾎﾞﾝｺｳｶﾝﾃﾞｷﾏｽ"となることを
確認して下さい。

"ﾘﾎﾞﾝｺｳｶﾝﾃﾞｷﾏｽ" の状態で、
本体のフロントアクセスカバーを開きます。
リボンカートリッジを固定しているカセット保持レバーを解除し、カートリッジを手前に引抜きます。

◆リボンカートリッジのロックを解除します。

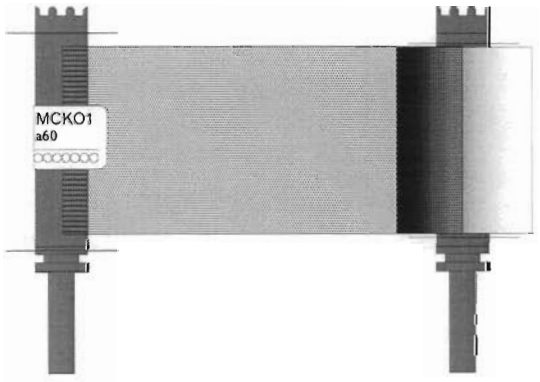


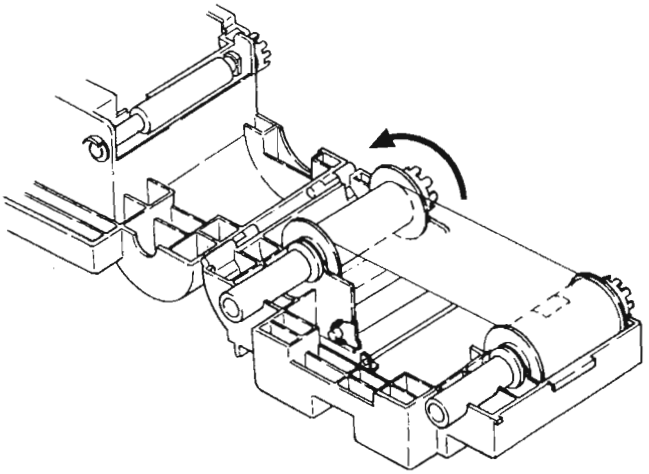
◆使用済みのボビンからリボンを剥がし巻き取られているリボンはボビンごと廃棄します。空になっているボビンを巻き取り側に移動し、新しいリボンを供給側にセットします。



◆新しいリボンの端部を剥がし、巻取り側のボビンに貼り付けます。

◆その際、リボンの中央とボビンの中央が合うように貼り付けます。

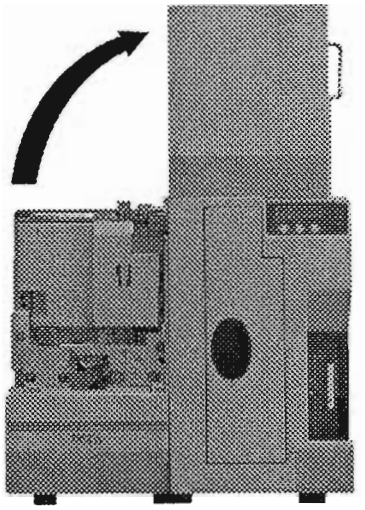




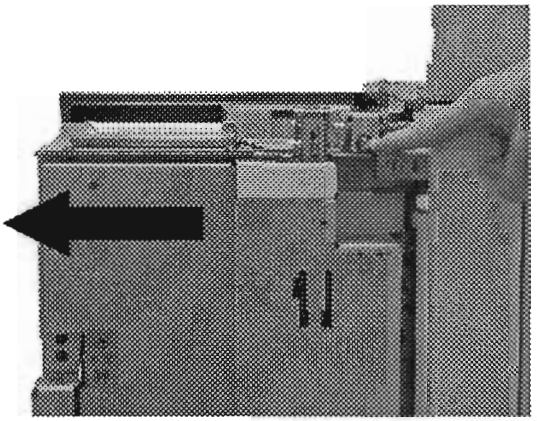
◆カートリッジを閉じてロックし、巻き取り側のボビンを矢印の方向に２～３周回してプリンターにセットします。

c) 再転写リボンの交換方法

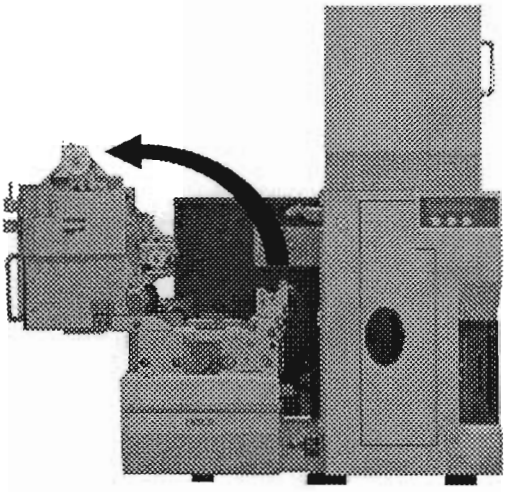
1．再転写カバーを開きます。



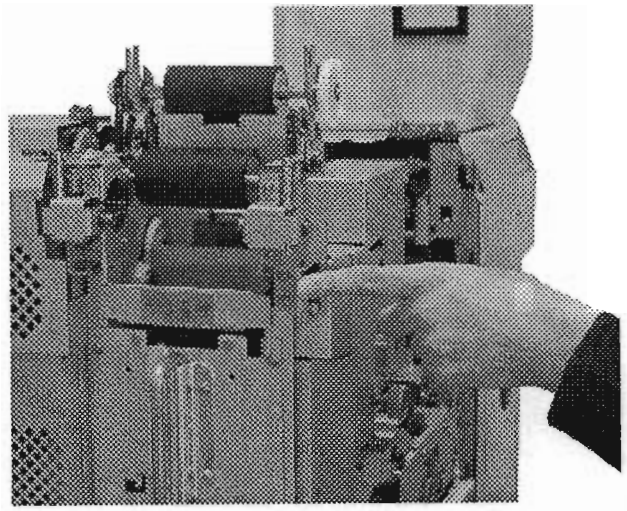
2．①：再転写ロックレバーを解除し、
再転写部を左にスライドします。



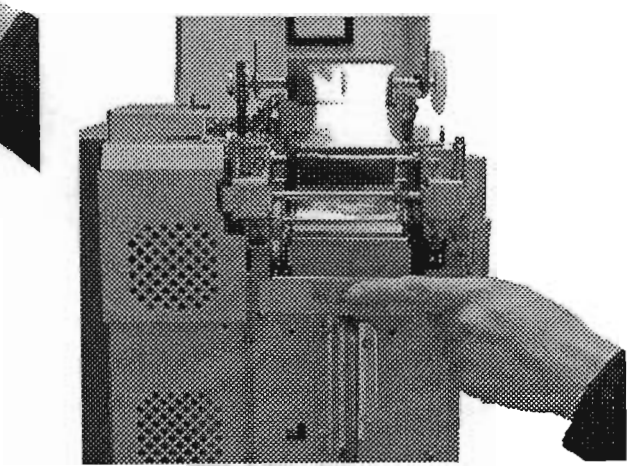
3．左にスライドした状態で、再転写部を
矢印のように開きます。



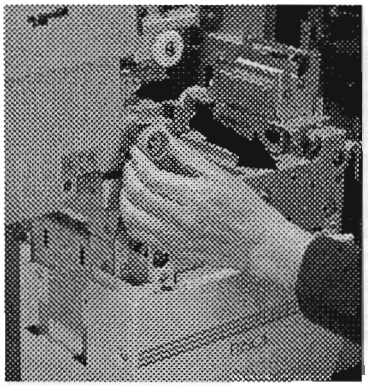
4．②を押すと、ロックが解除され、供給
側リボンテーブルが、飛出します。

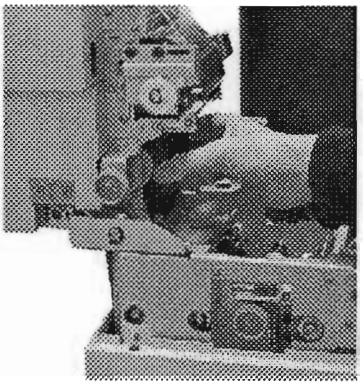


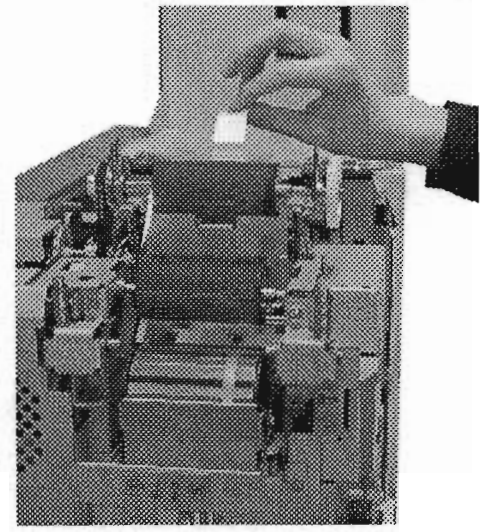
5．更に③：テーブルを引き出します。



6．④：巻取側のリボン軸を手前に引きボビンを外します。





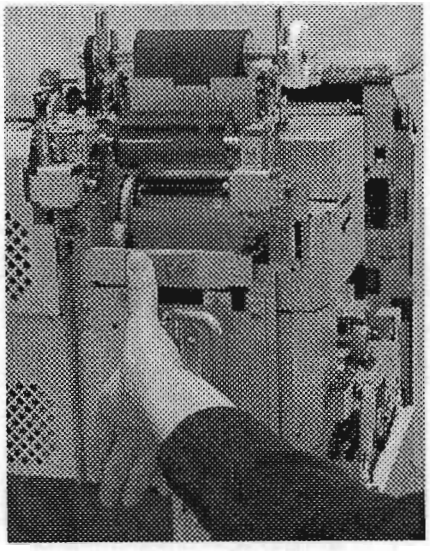


7．供給側リボンテーブルに残った空のボビンを取除き、新しい再転写リボンをセットします。この時ボビンのギヤを奥側とします。

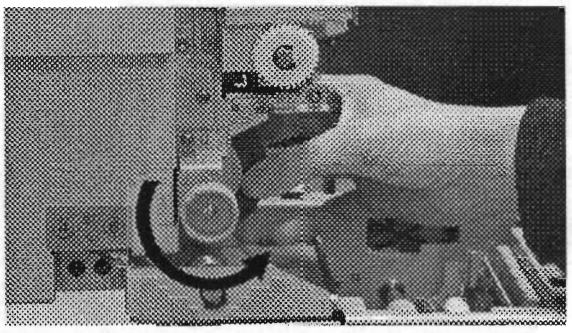
リボン端のラベルをつまんで引出し、先ほど取除いた空のボビンの中央にリボンが巻かれるようにラベルを張付けます。

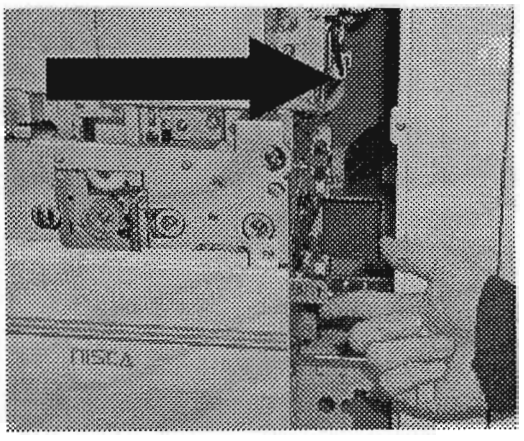
この空のリボンを６項と逆の手順で、巻取側リボン軸にセットします。
リボンが各ローラーの中央を通るように、片寄らないように注意します。

8．リボンテーブルを押し込みます。



9．巻き取り側のボビンを反時計回りに回してリボンの弛みを取ります。





１０．３項と逆に再転写部を閉じた後⑧：ロックを解除して右方向にロックするまでスライドする。

d）印刷方式の切替方法

本プリンターは、ダイレクト（カードに直接画像形成を行う方式），再転写（一端画像を再転写リボンに形成した後、カードに転写する方式）２つの方式に対応してます。
本項の手順に従って、印刷方式を切り替える事によって、ダイレクト方式のプリンターとしても、再転写方式のプリンターとしても使用できます。

◆両方式の特徴

ダイレクト方式は、画像形成用のインクリボンのみを使用して印刷するため、取扱が容易であり、発行コストが安いというメリットがあります。
これに対して再転写方式は、ICカード等、平滑性が乏しいカードへの印刷が可能です。
但し、全面一括転写のため、サインパネル等が設定されている面への印刷はできません。
また、画像形成用のインクリボンの他、再転写リボンが必要です。

使用リボン

	インクリボン	再転写リボン	適　用
ダイレクト方式	YMCKO2	不要	ｶﾗｰ＋墨＋保護ｺｰﾄ
	KO1	不要	墨＋保護ｺｰﾄ
再転写方式	T/YMCK1	T1	ｶﾗｰ＋墨＋保護ｺｰﾄ

ダイレクト方式と再転写方式の切替えは、次の手順で行います。

◆ダイレクト→再転写

1．プラテンローラーをクリーニングします。
2．印刷方式切替レバーをダイレクト→再転写とします。
3．再転写リボンをセットします。※ｃ）再転写リボンの交換方法
4．インクリボンを再転写用に交換します。※ｂ）インクリボンの交換方法
5．オペレーションパネル設定を「ﾀﾞｲﾚｸﾄ ｲﾝｻﾂ ﾎｳｼｷ」から「ｻｲ ﾃﾝｼｬ ﾎｳｼｷ」に切替え、使用するインクリボンと再転写リボンを各々設定します。

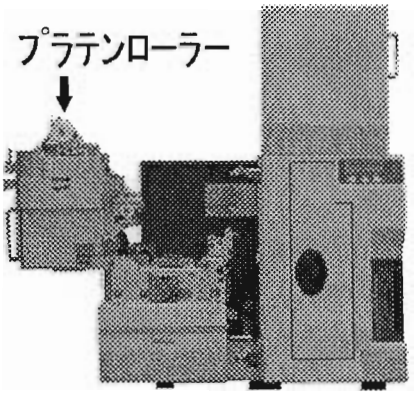
◆再転写→ダイレクト

1．印刷方式切替レバーを再転写→ダイレクトとします。
2．再転写リボンを取外します。※ｃ）再転写リボンの交換方法
3．インクリボンをダイレクト用に交換します。※ｂ）インクリボンの交換方法
4．オペレーションパネル設定を「ｻｲ ﾃﾝｼｬ ﾎｳｼｷ」から「ﾀﾞｲﾚｸﾄ ｲﾝｻﾂ ﾎｳｼｷ」に切替え、使用するインクリボンを設定します。

⚠ 注意

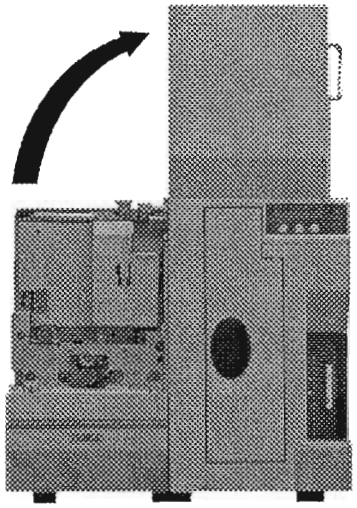
□ダイレクト→再転写の切替をする際は、必ずプラテンローラーのクリーニングをして下さい。
→ゴミが残留している場合は、再転写画像の印字特性に影響します。

アルコールを浸した不織布等でクリーニングします。
微細な埃が残存する場合は、クリーニングカードを利用して粘着し、確実に除去して下さい。

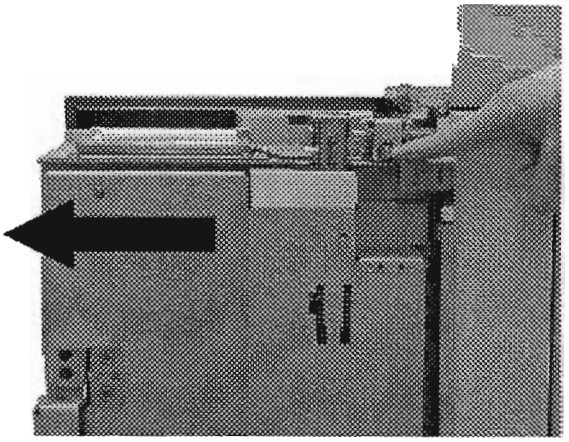


切替レバー操作方法

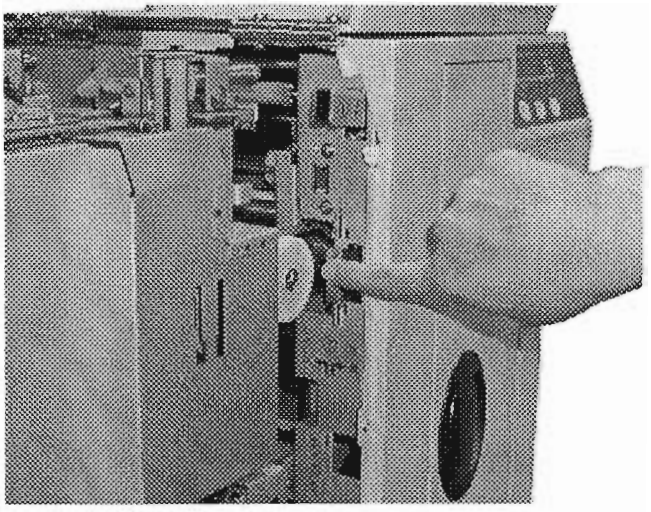
1．再転写カバーを開きます。

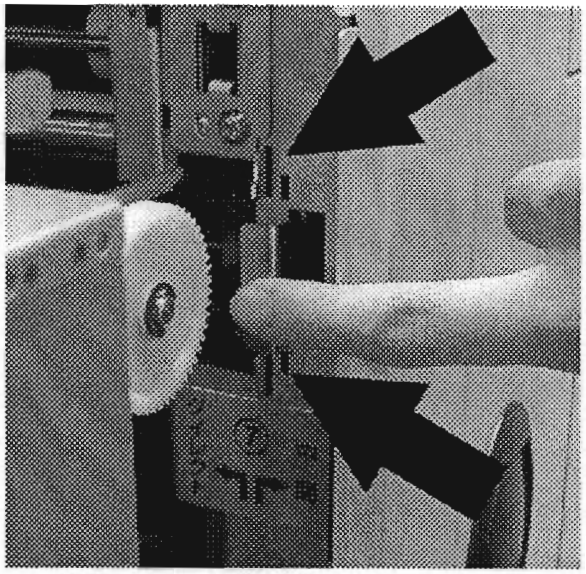


2．①：再転写ロックレバーを解除し、
再転写部を左にスライドします。



3．⑦：印刷方式切替レバーを押しながら、ダイレクトは奥側、再転写は手前側に
スライドします。





この際、レバー突起部が設定穴に勘合している事を確認します。

オペレーションパネル設定

オペレーションパネルのユーザーメニューで、"ﾘﾎﾞﾝﾀｲﾌﾟ ｾｯﾃｲ"を選択し、（No. 3）印刷方式を設定（No. 5）した後、各々の方式で利用するリボンを設定（No. 7，8）します。

No	ボタン操作	液晶表示		
1	MENUキー長押し	ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾓｰﾄﾞ CLR:ﾓﾄﾞﾙ EXE:ｽｽﾑ		
2	EXEキー	ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾓｰﾄﾞ MENU ｺｳﾓｸ ｷﾘｶｴ		
3	MENUキー 右記表示を選択	ﾘﾎﾞﾝﾀｲﾌﾟ ｾｯﾃｲ EXE:ﾒﾆｭｰ ｷﾘｶｴ >>		
4	EXEキー	ｲﾝｻﾂ ﾎｳｼｷ / ﾘﾎﾞﾝ ｾｯﾃｲ MENU:ｷﾘｶｴ		
5	MENUキー EXEキーで切替	ｲﾝｻﾂ ﾎｳｼｷ ｾﾝﾀｸ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ｲﾝｻﾂ ﾎｳｼｷ	⇔	ｲﾝｻﾂ ﾎｳｼｷ ｾﾝﾀｸ ｻｲﾃﾝｼｬ ﾎｳｼｷ
7	MENUキー EXEキーで選択	ｲﾝｸ ﾘﾎﾞﾝ ｾﾝﾀｸ ○○○○○		ｲﾝｸ ﾘﾎﾞﾝ ｾﾝﾀｸ T/○○○○
8	MENUキー EXEキーで選択	↓		ｻｲﾃﾝｼｬ ﾘﾎﾞﾝ ｾﾝﾀｸ T○
9	MENUキー	CLR:<<< ｾｯﾃｲ ｵﾜﾘ EXE: << ﾏｴﾆﾓﾄﾞﾙ		
10	CLEARキー	ｲﾝｻﾂ ﾃﾞｷﾏｽ		